

事業所名		放課後等デイサービスほっぴ・すてっぴ(児童発達支援)				支援プログラム		作成日		R7 年	1 月	14 日
法人（事業所）理念		自らも含めた全ての人々が自らの生に希望を持ち、社会情勢にも柔軟に対応して夢や自己実現に向けて羽ばたく力を得る一助となるよう寄り添っていく。										
支援方針		自身が納得した上の「自己選択」「自己決定」「自己責任」が出来るよう、利用者や保護者の心身に寄り添い、夢を叶えるために必要な力を日課・運動・学習等の様々な活動を楽しみながら育めるよう支援する。 利用者が人生のその時々で求める環境に所属が出来るよう、その場で必要とされる振る舞い・所作を理解し、守れる力を身に付け、不平・不満がある時には適切な人・場所に向け自分の思いや考えを受け入れてもらえるように伝える技術・方法を培っていけるよう支援していく。										
営業時間		平 日	10時00分	から	19時00分	分まで	送迎実施の有無	あり	なし			
		学校休業日	9時00分	から	18時00分	分まで						
		支 援 内 容										
本人支援	健康・生活	自分のやってみたい事・好きな事・楽しい事等を見つけ、伸び伸びと取り組む中で、自ずと健康に過ごす術を知り、必要な能力・技術を習得しながら自分の望む人生に向け、日々を充実して過ごす事が出来るように支援する。										
	運動・感覚	利用者が持つ力を十分に発揮出来る環境を整え、子ども自らがやってみたい・チャレンジしてみたい、という気持ちを持って身体を動かせるよう支援し「運動が好き」「もっとしたい」「さらに上達する」のサイクルが作られるようにする。 得意な事は更に上手に、苦手な事は楽しく取り組み克服することが出来るよう、本人の感性や捉え方を十分に把握し、自らがコツに気付き、達成出来るよう創意工夫を重ねる。										
	認知・行動	自分が現在所属する場所、または将来願う社会でのより相応しい振る舞いを側に寄り添って一緒に考えていく。 スモールステップで成功体験を重ね褒められる経験を十分に得る中で、自他の状態や様子を知る力を高め、自分の希望を叶えるための相応しい行動を自らが考え、正しく身に付けることが出来るよう支援する。										
	言語 コミュニケーション	他者と一緒に楽しく関わる中で意思疎通の楽しさを味わえるよう工夫し、言語・非言語共に、より適切に思いや考えを伝えることが出来るように支援する。 安心して自分の思いを伝える事が出来る人的・物的環境を整えることで、自分の持つ能力を十分に発揮しながら更に高めることが出来るようにする。										
	人間関係 社会性	信頼できる大人と一緒に様々な経験を積み重ねる中で、自分と他者との円滑な関わり方等を学び、気づけるよう支援する。 時・場所・場面ごとに適切な振る舞いや過ごし方があることを知らせ、「自己」を持ちながらも変動する社会情勢に臨機応変に対応出来る柔軟な想像力・技術・知識を培えるよう個々に応じて必要な様々な体験を自らが望み、積み重ね克服していけるよう支援する。										
家族支援		普段から連絡を密にすることで相互の信頼関係を築き、家庭(兄弟を含む)の不安や悩みをつぶさに汲み取り・受けとめ、家族と本人の意思を尊重しながら共に解決方法を考えていく。					移行支援		生活・就学の他、地域社会との関りに関する事項等で気になる事や不安・心配事があれば都度相談を受け、適宜各セクションと連携を図る等し、次のステージへの移行がスムーズに行えるようにする。			
地域支援・地域連携		興味や関心のあることを聞き取りながら、地域で行われている関連性のある行事を知らせたり、一緒に探したりする。本人の心身の様子を見ながら、地域社会へ参加できる条件の調整を福祉・教育関連機関と連携して行く。					職員の質の向上		スタッフ間の連携を密にして常に課題を共有し、日々の活動の中で発見と振り返り、それを踏まえた次の実践への取り組みへを経て更なる資質・能力が向上していけるようにする。			
主な行事等		・交通安全指導等 ・個別対応プログラム										